

# 元気な阿戸町だより

## 阿戸認定こども園落成記念特集号

平成27年7月12日 阿戸町連合町内会発行



メールアドレス/atochounaikai-info@hyper.ocn.ne.jp  
ホームページアドレス//www.com-net2.city.hiroshima.jp/ato/

### 阿戸認定こども園 開園にあたって

阿戸町連合町内会

会長 松田 康憲

六年前、阿戸町の人口が減少し、子どもの数も減少していることから、このままの状態が続けば、阿戸町の将来が心配され、このため、子育てのしやすい環境の整備が必要と考え、いくつかの取組みをして参りました。

特に、阿戸幼稚園においては、入園者が減少し、この状態が続くと、閉園になるのではないかと心配いたし、幼稚園機能と保育園機能を兼ね備えた「認定こども園」の設置を広島市及び広島市教育委員会に要望して参りました。併せて、私達も自ら、先進地である三原市にあります「大和認定こども園」と安芸太田町にあります「戸河内認定こども園」を視察いたしました。

いずれも、田を造成し、そこに新たな建物を建設しているもので、園舎、駐車場、園庭もゆったりとしており、静かな環境の中で、乳幼児の保育・教育が行われておりました。

私達は、広島市で初の公立の「認定こども園」であり、また、子育て支援の拠点としての機能を果たす施設に出来れば、との思いもあり、立派な建物にしていきたい、との一心で、視察の結果も踏まえながら、広島市に当局と度々お話をさせていただきました。

その結果、隣の土地(田)を取得していただき、敷地面積を広くし、そこに平屋の園舎を建設、駐車場も確保、園庭も今まで通りの面積を確保していただくなど、すばらしい「認定こ

ども園」にさせていただきました。

広島市及び広島市教育委員会並びに関係者の皆様のご支援、ご協力に感謝を申し上げます。

この園舎は、木材がふんだんに使われており、ぬくもりのある雰囲気がございます。

このなかで、今後、新しい園長様をはじめ教職員の皆様・保護者の皆様・地域の皆様が一体となって、次代を担う子供たちを、心豊かに、たくましく育んで行かれ、新たな歴史を刻んで行かれると共に、子育て支援の拠点としての役割を担って行かれることを心より願っております。



松田 康憲  
阿戸町連合町内会会長



西藤 公司 広島市副市長

### 市長挨拶

広島市副市長 西藤 公司

この四月に、本市初となる公立の認定こども園をここに阿戸地区に開園し、その園舎が落成しました。これもひとえに、地域の皆様や関係者の皆様の御理解と御協力によるものであり、心から感謝申し上げます。

地域の皆様におかれましては、少子・高齢化が進む中、これまで、子育てがしやすい、地域の宝として子供たちの健やかな成長をみんまで見守

る環境づくりが重要であるとの認識の下、まちづくりを考え行動してこられましたことに深く敬意を表します。

本市におきましても、人口減少の予測を打ち破っていくため、これからの社会を支える若者がやりがいのある安定した仕事を持って、結婚・出産・子育てといった希望をかなえ、子供が知・徳・体の充実した教育を受けられるようにすること、そして、住みたい、住み続けたいと思うまちをつくり上げていくことが急務であり、そのための施策を展開していかねばならないと考えています。

この度の「阿戸認定こども園」の開園は、正にそうした取組の一つであると考えています。少子化の進行や子育て家庭を取り巻く環境の変化に伴い、幼児期の学校教育と保育に対する住民の皆様のニーズに対応していくため、閉園した「阿戸幼稚園」の教育の実践を踏まえながら、教育と保育を一体的に提供する新たな施設として、また、地域における子育て支援の拠点としての役割を果たしていただくこととしていきます。

本施設の開園が、住み良さを実感できる魅力ある阿戸地区のまちづくりの推進につながり、新たな園舎が子供たちの笑顔であふれることを期待しています。本市としましても、引き続き、家庭・地域・学校と連携し、子育て支援の充実に努めてまいりたいと考えておりますので、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 園長挨拶

## 阿戸認定こども園

園長 柿原 明美

「阿戸認定こども園」がスタートして、間もなく三ヶ月が経過しております。阿戸幼稚園時代から大切に育てられ、このこども園でもシンボルツリーとして親しまれるであろうメタセコイヤも青々とした葉を繁らせ、子ども達の笑い声、元氣よく遊ぶ姿を見守っております。「この明るく立派な園舎、広々とした園庭に子ども達のはじけんばかりの笑顔と活気に満ちた声がこだますることを心から嬉しく思います。」

四月一日より、長時間認定（保育園部）四十名、七日には短時間認定（幼稚園部）十一名を迎え、保護者の皆様方、たくさん地域および設立関係者の皆様方に祝福され、開園いたしました。「阿戸認定こども園」開園準備に携わってこられた広島市および広島市教育委員会等、幼稚園・保育園の関係者の方々、こども園の開園を心待ちにしながらい、今日までに陰になり日向になりお力添えを下された地域の皆様、保護者の皆様、本当にたくさんの皆様方とともにこの良き日を迎えられたことに感謝申し上げます。

ここに、「阿戸認定こども園」として新たな歴史の一步を踏み出したわけですが、阿戸幼稚園・阿戸保育園の良き伝統を引き継ぎつつ、より洗練された乳幼児の保育・教育施設となり、こども園に関わるみなさんが、「こども園に行きたいな」「阿戸で生まれてよかった」と思えるよう、職員一同心を一つにして、皆様と連携してこども園運営にあ

たっていく所存です。

今後、ますますの地域の発展と、広島市の教育・保育行政の充実と発展をお祈り申し上げますとともに、従前と変わらぬご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



## 小・中学校長挨拶

### 阿戸認定こども園落成に思うこと

阿戸小学校校長 谷川利信

阿戸保育園と阿戸幼稚園を統合し、「阿戸認定こども園」が遂に完成いたしました。

園舎完成までには、紆余曲折の道のりがありました。連合町内会会長の松田様をはじめ、地域の皆様方の粘り強い取り組みとご協力のお蔭で、立派な施設が出来上がりました。

阿戸幼稚園の閉園は寂しい限りですが、保育園機能と幼稚園機能を兼ね備え、また、駐車場も完備された「阿戸認定こども園」は、保護者の皆様のニーズに応えることのできる素晴らしい施設になっていると思います。

また、広島市で初の「阿戸認定こども園」が、今後、子育て支援の拠点となり、引き続き、園・小・中学校が連携した教育を行うことにより、阿戸っ子十五年間

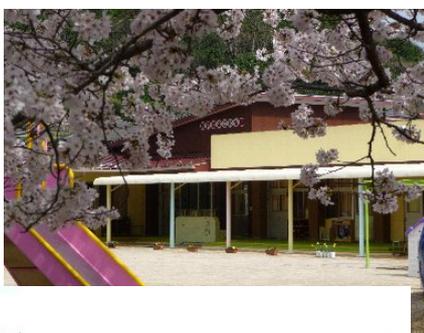
の保育・教育を推進していくことができます。今後とも、皆様方のご支援とご協力をいただきながら、阿戸の子どもたちを慈しみ育てていきたいと思っております。誠にありがとうございました。

阿戸中学校校長 藤本 恵

この度は、「阿戸認定こども園」園舎落成式おめでとうございます。一昨年の小中一体型校舎に引き続き、阿戸町の教育環境にとっては大変ありがたいことだと感謝しております。

これまで、保幼小中で連携し、阿戸っ子を十五年間で育てる活動をして参りましたが、四つの園校の連携から、一気に「こども園」と「小中」二つの園校の連携になった感じがしています。どんな連携ができるだろうかと、この園校をどのように育てていけば、阿戸町発展の核になりうるだろうかと、様々に頭を巡らせております。

阿戸町の切なる願いが形になったすばらしい環境の認定こども園と小中が、ご期待に添えるよう一緒に励んでいきたいと思っております。



# 園舎落成に思うこと(一)

阿戸保育園保護者会 会長

林 美由紀

阿戸では、これまで、「子どもは宝」という熱い思いのもと、子育て環境の整備、また、子育てのために各種団体及び園・小・中学校の連携など、町を挙げて様々な取り組みが行われてきました。そんな中、「阿戸認定こども園」は、広島市で初の「公立認定こども園」として、設置していただきました。

大きなメタセコイヤの木の下で仲良くお話をしている子ども達、広い園庭を駆け回りながら鬼ごっこを楽しんでいる子ども達、保育室の一角に座って穏やかな表情で絵本を読んでいる子ども達…。子ども達は、きれいな保育室、広々とした園庭、たくさんのお遊具がそろった本当に素晴らしい環境の中で、笑顔いっぱい毎日を過ごしています。

このような素晴らしい環境を整備していただいたことに、保護者として本当にうれしく、大きな喜びを感じ、たくさんの方々にご尽力いただいたことに心から感謝申し上げます。

保護者一同、地域の皆様、先生方と心を一つにして、「阿戸認定こども園」の園歌の中に詠われていますように、「かけまわる げんきな子」「ほがらかな あかるいこ」「あおぞら見上げる あつこのこ」を育てていきたいと思えます。

この「阿戸認定こども園」が未永く、皆様に愛されるこども園となる事を祈念するとともに、「阿戸認定こども園」設立に関わってくれたすべての皆様方に感謝申し上げます。

(3)



園児発表

## 優しいまなざしに囲まれて

阿戸認定こども園

主任保育士 河野 祥子

「おはよう〇〇ちゃん、髪きったんだね」「〇〇くん歩いてきたの?」色々な保護者の方が登園時や降園時に出会った子ども達に、優しいまなざしで声をかけてくださいます。散歩に出かけると、地域の方が畑仕事の手を止めて「かわいいね」。どこに行くかかね?と、声をかけてくださいます。子ども達は、いつも優しい大人のまなざしに囲まれ、「大切にされている自分を」感じながら大きくなっています。わが子だけではなく「地域のみんなで阿戸の子ども達を育てていこう」という温かさいっぱいの阿戸…。

そんな温かな地域の方々を守られてきた幼稚園と保育園が一緒にになり、認定こども園として新たにスタートしました。そこに携わらせていただく一人として責任を感じつつ、それぞれの園が育んできた事を大切にしながら子ども達が安心できる場であり続けるよう努力していきたいと思っています。かわいい子ども達の笑顔は、阿戸町、そしてこども園の宝です。

## 私と幼稚園と保育園とこども園

阿戸認定こども園 保護者会会長

佐々木 麻里

三月、阿戸保育園最後の卒園生として、息子が無事に卒園を迎えました。入園当初は、泣いてばかりでしたが、卒園式には立派に成長した姿を見ることができました。

たくさんのお思い出を作った保育園、最後も卒園生になれたことを誇りに、これからも成長してもらいたいと思います。

そして四月、二十数年前、私が卒園した阿戸幼稚園は「阿戸認定こども園」となり、思い出深いこのこども園(幼稚園)の門を娘と一緒に再びくぐることになるうちは思ってもみませんでした。

見覚えのある園庭は、なんだか狭く感じましたが、私が大人になり、成長したからでしょう。

ここでたくさん遊びました。春は、親子遠足。夏は、園庭でカレーパーティ。秋は、自分たちで植えたお芋の芋掘り会。冬は、クリスマスケーキ作りに餅つき大会。友達と一緒に楽しんだ鬼ごっこ、かくれんぼにままごと遊び。なんでもない毎日キラキラと輝いていました。娘も私と同じようにこのこども園でたくさん経験をし、学び、成長していくのかと思うとうれしい限りです。



# 園舎落成に思う(一)

## 阿戸認定こども園と十五の春

### 阿戸認定こども園

#### 保護者会副会長 福岡 典子

ぴかぴかの園舎に大勢の子ども達の姿…。現在一年生の息子が通っていたころの阿戸幼稚園とはがらりと様子を变えて開園した「阿戸認定こども園」に、四歳の娘が入園して三ヶ月になります。

入園当初は、初めての集団生活への戸惑いと、先生やお友達に自分の気持ちをうまく伝えられないもどかしさで硬い表情でしたが、日を過ごすごとに園生活やお友達とのふれ合いを楽しめるようになって、最近「今日は誰と遊ぼうかな」と笑顔で登園しています。

娘がこの春であったクラスの仲間たちは、担任の先生いわく「個性も感性も豊か」な顔ぶれ…。その豊かな個性と感性は、これから共に過ごす中で何度もぶつかったり、歩み寄ったりするに違いないでしょう。そのひとつひとつが娘や仲間たちの心の糧となると信じ、ともに笑顔で『十五の春』を迎えられるよう、私なりにサポートしていきたいと思っています。

### 素敵な阿戸認定こども園

#### 阿戸認定こども園保護者

#### 住田 真樹

四月から年長にわが子が通い始めて三ヶ月が経ちました。親子ともども不安とともに、同じ日が一日としてないような経験を重ね、新しい環境の中にあっても、日々、わが子なりの成長を感じられています。

たくさんの方の友達と関わる中で、今までの幼稚園だ

けでは経験できなかったこともあり、わが子の姿をみながら、『子どもは大人が思っているより柔軟なんだ』と感じています。

毎日誰かが笑顔でこども園に迎え入れてくれて、すぐに仲良くなって、すぐに友達になっています。「○○ちゃんのお母さん」と笑顔で寄ってきてくれて、不安に思っていたことも、『子どもは子どもなりに前に進んでいる』ことが伝わってきます。

阿戸の子ども達は、緑いっぱい、笑顔いっぱい、の新しい園でたくさんの方々と元氣いっぱい、毎日楽しく過ごしてくれることを先生や家族、地域の方々と一緒に見守っていかれたらと思っています。

## 祝賀△△の様子



### 編集後記

保育園から聞こえていた園児たちのにぎやかな声が聞こえて来なくなったのがちょっと淋しい気がします。

一方、阿戸小学校、中学校の隣には、自然環境にも恵まれた真新しい園舎、園庭が開園しました。そこからはじけるこどもたちの声、輝く目はこれからのわが町の将来を担う最高の宝物といえます。心身ともに優しく、元気に成長してほしいと願っています。 編集委員長 出口 勝紀